

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年10月11日 (2012.10.11)

【公開番号】特開2010-98728(P2010-98728A)

【公開日】平成22年4月30日 (2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-017

【出願番号】特願2009-210255(P2009-210255)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/74 D

G 0 3 B 21/14 D

G 0 3 B 21/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月28日 (2012.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源及び前記光源から出射される光を投写面上に投写する投写素子を有する本体部を備えており、

前記投写素子は、前記本体部の内部に設けられており、

前記本体部は、前記投写素子から出射される光によって構成される映像を前記投写面上において調整する映像調整機能の操作に専用で用いる調整具を有することを特徴とする投写型映像表示装置。

【請求項 2】

前記調整具は、スライド可能に構成されたスライド部材を有し、スライド部材のスライドに応じて、台形補正調整用の方向調整信号を出力するようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載の投写型映像表示装置。

【請求項 3】

前記調整具は、垂直方向調整具であって、垂直方向調整具はスライド可能に構成されたスライド部材を有し、スライド部材のスライドに応じて、台形補正調整用の垂直方向調整信号を出力するようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載の投写型映像表示装置。

【請求項 4】

前記調整具は、水平方向調整具であって、水平方向調整具はスライド可能に構成されたスライド部材を有し、スライド部材のスライドに応じて、台形補正調整用の水平方向調整信号を出力するようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載の投写型映像表示装置。

【請求項 5】

前記調整具から入力される調整信号に基づいて、前記映像調整機能を制御する画像処理部をさらに備え、

前記投写面上に投写される映像は、水平方向に沿った行及び垂直方向に沿った列によって定まる座標を有する複数の画素によって構成されており、

前記画像処理部は、外部機器から入力される映像信号の変換によって、前記水平方向に

おける画素数を変更し、前記垂直方向における画素数を変更することによって台形補正をすることを特徴とする請求項 2 に記載の投写型映像表示装置。

【請求項 6】

前記調整具から入力される調整信号に基づいて、前記映像調整機能を制御する画像処理部をさらに備え、

前記投写面上に投写される映像は、水平方向に沿った行及び垂直方向に沿った列によって定まる座標を有する複数の画素によって構成されており、

前記画像処理部は、映像信号の変換要求として、前記調整具から入力される調整信号を外部装置に出力し、

前記画像処理部は、変換後の映像信号を前記外部装置から取得し、

前記変換後の映像信号は、前記水平方向における画素数を変更し、前記垂直方向における画素数を変更する信号であることを特徴とする請求項 1 に記載の投写型映像表示装置。

【請求項 7】

前記調整具から入力される調整信号に基づいて、前記映像調整機能を制御する画像処理部をさらに備え、

前記光源は、固体光源であり、

前記投写素子は、水平方向に沿った行及び垂直方向に沿った列によって定まる座標を有する複数の画素毎に前記投写面を所定走査方向に沿って走査し、

前記画像処理部は、前記所定走査方向における前記投写素子の走査間隔を制御することを特徴とする請求項 1 に記載の投写型映像表示装置。

【請求項 8】

前記投写素子が前記投写面に光を投写する角度である投写角度と、前記投写角度に応じて所定基準形状を変形させた複数の補正用形状とを対応付けて記憶する記憶部と、

前記投写面上に投写される光によって構成される映像として、前記複数の補正用形状のうち、少なくとも 2 以上の補正用形状を前記投写面上に構成するように、前記光源及び前記投写素子を制御する画像処理部とをさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の投写型映像表示装置。

【請求項 9】

前記投写面上に投写される光によって映像を構成するように、前記光源及び前記投写素子を制御する画像処理部をさらに備え、

前記画像処理部は、投写型映像表示装置を起動したときの起動映像として、前記映像調整機能の処理が完了した時点で垂線を構成する垂直ガイド線及び前記映像調整機能の処理が完了した時点で水平線を構成する水平ガイド線を前記投写面上に構成するように、前記光源及び前記投写素子を制御することを特徴とする請求項 1 に記載の投写型映像表示装置。

【請求項 10】

光源及び前記光源から出射される光を投写面上に投写する投写素子を有する投写型映像表示装置を少なくとも備えた表示システムであって、

前記投写素子から出射される光によって構成される映像を前記投写面上において調整する映像調整機能の操作に用いる調整具を備えており、

前記投写素子は、前記投写型映像表示装置の内部に設けられることを特徴とする表示システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 6
【補正方法】削除
【補正の内容】